

令和7年度山田住民有志の会タウンミーティング概要

日時:令和 8(2026)年 2月 7日(土)

午後 1時~午後 2時 30分

場所:山一地区公民館 大会議室

山一地区公民館において、タウンミーティングを開催しました。市長が講話を行い、その後参加者の皆さんと山田万博周辺地域について意見交換を行いました。

1 市長講話

能登半島地震に対する吹田市の対応状況、他市と比較した吹田市の特徴などについて、市長から講話がありました。



2 事前質問への市長回答

【テーマ1】現在の万博記念公園周辺の交通問題について

(1) サッカーの試合開催日などに、樫切山北交差点において、パナソニックスタジアム吹田側(北方面)から阪急山田駅方面(西方面)への歩行者が多く、西側から北側へ左折する車がほとんど左折できない状況になっており、渋滞の主な原因になっている状況と認識している。対応策としてスクランブル交差点を設置してはどうか。

市長

当該交差点について吹田警察とも協議を重ねましたが、スクランブル方式にすると現状より渋滞が悪化するとの明確な判断がなされたため、スクランブル方式を導入することはありません。

(2) 上記の南北方向の混雑については以前から起こっていたが、吹田徳洲会病院が開院、ロピア吹田千里丘店の開店に伴い、東西方向も混雑するようになった。混雑を避けようと、山田旧村地域に迷い込んでくる人が多くなり、住民は迷惑している。

市長

山田旧村地域において、そのような状況であることを把握させていただきます。

【テーマ2】万博外周道路外側にマンションができた場合の子どもの学校問題・通学路問題について

(1) どこの小・中学校の校区となるのか。マンションができることにより、校区変更など在住市民への影響はあるのか。

市長

北山田小学校・山田東中学校の校区となります。また、今回の開発では、当該小・中学校で受け入れることが可能と見込んでいるので、校区変更はありません。

(2) マンションから小・中学校への通学路はどの道になるのか。

市長

通学路は、学校、保護者、教育委員会、道路管理者(吹田市)、吹田警察の五者で協議を行い、最適

なルートを設定しています。通学路については、マンション購入者である保護者と決定していきますので、未定です。

3 その他質疑応答・意見交換

参加者

榎切山北交差点のスクランブル化について質問をしていましたが、先程、市長からお話があったとおり警察から渋滞が今よりひどくなるという判断が出ていることは理解しました。他にも渋滞解消する手法として、車道側と歩道側の信号が変わるタイミングを変更する、青信号の時間の長さを日によって変更するという案もあるのではないかと思います。

また、ガンバ大阪の試合開催日になると、山田旧村地域の中にある小さな駐車場に駐車するために、たくさんの車が入ってきている状況です。旧村地域の道は狭く入り組んでいて、スタックする車も見かけます。それによる旧村地域内での渋滞が心配です。

市長

信号が変わるタイミングについては、警察による様々な試行を経て、現状が最適であると判断された結果です。道路は歩行者が優先です。車の渋滞解消というのは優先順位が低くなります。しかし、榎切山北交差点の現状については苦悩されていると思います。

交差点の交通問題を解消する際に、警察が最初に考えるのは「危険性」です。渋滞解消ではありません。例えば、旧吹田市民病院に接する坂道（片山坂）を通られる際、信号機が多いと感じられると思います。それは歩行者を守るために信号機を設置しているからです。

榎切山北交差点の現状に対し吹田市ができることは、大阪府へは実情を報告すること、そして、ガンバ大阪に対しては来場者へ公共交通機関の利用や、周辺地域における駐車場の利用自粛を呼びかけよう働きかけることです。

小さな駐車場は京都の街中で増加しており問題になっていると聞いていました。吹田市でも増加傾向にあり、他人事ではないと感じました。

参加者

以前、山田ふれあい文化センターで開催された万博アリーナの説明会に参加しましたが、当日は詳細が決まっていないという説明でした。その後の進捗状況はどうなっているのでしょうか。当日の説明者も大阪府の担当者の出席が無く、吹田市の担当者のみ出席されていたのも疑問に思いました。

また、万博アリーナの収容人数が2万人とのことで、アリーナでのイベントとガンバ大阪の試合の日程が被った場合に、来場者が電車に乗れるのか心配しています。

市長

開発計画がある場合、吹田市環境まちづくり影響評価条例に基づき、事業者が開発計画を提出してもらいます。その中で、周りの交通を含めた環境配慮をどの程度行うかを報告していただきます。現在、専門家をお呼びし、年間の渋滞日数についてシミュレーションを行っているところです。エキスポシティが建設される際も同じようなシミュレーションを行い、予測どおりの結果となっています。また、モノレールでの輸送シミュレーションについても、アリーナが完成後の負荷をいかに落とせるかシミュレーションを行っているところです。

アリーナの建設については、事業者を選定した大阪府にも説明責任を果たすよう、求めていきます。

参加者

これからの学校について、子どもたちが安心して通える学校になってほしいと思います。

市長

教育委員会で「教育未来創生ミーティング」を設置し、教育の専門家等をお呼びし、教育の未来を考える会を設置しています。そこで最初に指摘されたことが、「教育」という言葉の意味を考え直す必要があることです。子どもたちの疑問に対する答えは全て「AI」が答えてくれます。それよりも、考え方や判断力を育むことが本来の教育だということです。現在過渡期ですが、教育はそのように変わりつつあります。

参加者

先程の吹田市環境まちづくり影響評価条例の件について、パナソニックスタジアムでの試合開催時の渋滞のシミュレーションを観客動員数 25,000 人で行っているとのことでしたが、現在の動員数はこの数字から多くなっています。シミュレーション値から乖離してきており、その影響が気になります。

市長

パナソニックスタジアムへの来場者には、公共交通機関を利用して来場するよう広報し続けます。また、ガンバ大阪には公共交通の利用促進につながる新たなサービスを考えるよう働きかけます。

吹田市環境まちづくり影響評価条例は、事業者自らが渋滞予測を立て、対策を講じなければなりません。しかし、その予測が外れた場合、さらなる対策を講じることになっています。

参加者

万博記念公園で大きなイベントがあると、山田旧村地域に駐車場を求めて他県ナンバーの車が入ってきます。また、参加者を迎えに来る車でも混雑している状況です。道路脇には、この先道が狭いといった案内看板が建っている箇所もありますが、運転手には見えていないのか、状況が改善されていません。道路に直接書くことで、状況が改善されるのではないのでしょうか。

市長

路面標示の設置については、当該箇所のみへの限定的な対応は困難と考えられます。